



三中HP

アクセス
QRコード

それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

令和4年9月1日
足利市立第三中学校
生徒数：212名
発行者：高木秀和



突き抜ける青空と白く輝く太陽、蝉の声、サイダーの瓶がまどう滴、夏祭りの屋台と神楽、そして足利の花火大会、何より42日間という長期間のお休み、夏休みが始まる前に訪れるウキウキした気持ちは、はかなく過ぎて行くものです。そして、迎えるのは第2学期が始まる前夜の慌ただしさと残念な気持ち、こちらの憂鬱さも健在です。感じ方には個人差がありますが、日本の夏、とくに一ヶ月以上の長期休業を迎える生徒にとってその意義、気持ちの高揚は大きなものでしょう。そして、その反動により、夏休み明けの憂鬱さに、心折れる子がいるのも現実です。特に、2学期のスタートにあたり、教職員一同、一人ひとりと向き合い、寄り添いながら子どもの変化に気づけるよう努めています。話は変わりますが、この夏休み中に、技能員さんの共同作業で、全校生徒の机板のヤスリがけをしていただきました。ただ、共同作業の1日では終わらず、その後も何日もかけて、■■■■さんと、■■■■先生で表面を平らに削リニスを塗るという作業を汗だくになって続けていただきました。2学期から皆さんが毎日使う机、そのリニューアルされた綺麗な表面は、新しいスタートを応援してくれるでしょう。心より感謝したいですね。



2学期 始業式 学年代表の言葉(夏休みの反省と2学期の抱負)

1年2組 ■■■■ さん

2学期に頑張りたいこと：授業前にノート、教科書を開いて学習をより意識する。テスト前の勉強は計画表に忠実に集中する。バスケ部、3年の先輩方のアドバイスを忘れず、2年生の先輩方、1年生と頑張る。体育祭、合唱コンクール、クラスで協力する。

2年2組 ■■■■ さん

2学期に頑張りたいこと：卓球部の練習、3年の先輩達のように声を出して後輩を導き、新人戦等で悔いのない試合をしたい。漢字検定で3級を取得したい、自習学習などでコツコツ取り組む。定期テストで点数を上げたい、分からないことは先生に質問する。

3年1組 ■■■■ くん

2学期に頑張りたいこと：受験勉強、夏休み前半の分を取り返しつつ、この4ヶ月にかけたい。副学級長として、体育祭や合唱、クラスをまとめて頑張りたい。11月、レスリングの全国大会、練習、体調管理、関係なさそうなことも日々しっかりやって臨む。



総体県予選会について

男子バレー部

7/26(火) 宇都宮清原体育館

古里中に対して、ひるまず、一つ一つのプレーに思いを込めてボールを繋ぐことに全力を尽くし、好プレーが見られました。



バドミントン部 男子団体7/26

(火) 男女個人7/27(水)

小山県南体育館 団体では県ベスト8の力闘、個人戦もシングル、ダブルスともに各選手が強豪校を相手に善戦しました。



卓球 個人 7/29(金)、

30(土) 小山県南体育館

各選手、攻守を俊敏に切り替え着実に、そして、ここぞという時にはひるまずスマッシュする姿が勇ましかったです。



水泳 7/28(木)、29(金)

日環アリーナ栃木

国体会場となる屋内プールと地区大会会場のギャップや緊張感に負けず、自己記録更新を目標に力泳する姿を見せました。



体操

7/23(土) 日環アリーナ栃木

4つの種目が同時に進行され音や動きの交差による緊迫感に包まれる中、名前を宣誓し、競技を披露する姿は華麗でした。



今年度の地区総体、県総体が無事に終了しました。保護者様の入場制限等、また通常に戻ったわけではありませんが、生徒が日頃の練習成果を緊張感に包まれながらの大舞台で発揮できることを嬉しく思います。猛暑の続いた夏休み、生徒は、秋の地区新人大会、吹奏楽コンクール、作品展に向け練習に励んでいました。

2022年関東中学校水泳大会 8/10(水)

茨城県ひたちなか市の山新スイミングアリーナにて開催された同大会に、2年生の■■■■くんが、栃木県の代表選手として参加しました。男子自由形200mに出場し、関東トップレベルの選手と記録を競いました。初めての会場で緊張しましたが、ベストを尽くし自分の泳ぎができました。■■■■くんは、大きな大会に参加し、その場の雰囲気や選手のレベルの高さなど、多くのことを学べたということです。



駅伝部 練習スタート【大会予定：10/18(火)】

夏休みに入り7/22より駅伝部の練習がスタートしました。長距離の走り込みのため、気温が上がる前午前7時半からの1時間を練習にあてていますが、今年の猛暑日続きの中では、朝一番ですらかなりの暑さでした。初日は、雨でしたが、そんなことには構わずに、全員が一歩一歩着実に走り込んでいました。



表彰集会

7月20日の1学期終業式に続いて、校長室にて表彰集会を行いました。表彰の様子はリモートで放映しました。ここで、表彰について紹介します。皆さんの活躍を大変嬉しく思います。おめでとうございます。

団体種目

春季地区バドミントン大会 男子団体優勝

県春季大会(バドミントン) 男子団体第3位

総体育地区バドミントン大会 男子団体優勝

春季地区バドミントン大会女子団体第3位

春季地区卓球大会女子団体準優勝

総体育地区卓球大会女子団体第3位

総体育地区予選水泳競技女子総合第3位

個人種目

バドミントン 春季地区バドミントン大会ダブルス優勝 総体育地区バドミントン大会ダブルス第3位

春季地区バドミントン大会ダブルス優勝 総体育地区バドミントン大会ダブルス優勝 バドミントンダブルス大会準優勝 バドミントンシングルス大会第3位 総体育地区バドミントン大会ダブルス優勝 総体育地区バドミントン大会ダブルス第3位 バドミントンシングルス大会第3位 春季地区バドミントン大会シングルス第2位 総体育地区バドミントン大会シングルス第3位 バドミントンダブルス大会準優勝 バドミントンシングルス大会第2位 春季地区バドミントン大会シングルス第2位 総体育地区バドミントン大会シングルス第2位 バドミントンダブルス大会第3位

バドミントンダブルス大会第3位 総体育地区バドミントン大会シングルス第3位

卓球 春季地区卓球大会シングルス第3位 総体育地区卓球大会シングルス第3位 足利卓球選手権大会ダブルス準優勝 総体育地区卓球大会ダブルス準優勝 足利卓球選手権大会ダブルス準優勝 総体育地区卓球大会ダブルス準優勝 総体育地区卓球大会シングルス第3位

水泳 地区春季体育大会(水泳)2年50m自由形第2位・200m自由形第1位 春季県大会2年200m自由形第2位・50m自由形第3位 総体育地区水泳競技50m自由形第3位・200m自由形第2位 地区春季体育大会(水泳)1年100m自由形第2位・200m個人メドレー第3位 総体育地区水泳競技200m個人メドレー第3位・100m自由形第3位

地区春季体育大会(水泳)1年100m平泳ぎ第1位・200m個人メドレー第2位 総体育地区水泳競技200m個人メドレー第2位・100m平泳ぎ第2位

体操 地区春季体育大会(体操)平均台第1位 県春季体育大会(体操)ゆか第4位 県春季体育大会(体操)平均台第4位 県春季体育大会(体操)個人総合第4位 総体育地区(体操)平均台第2位

レスリング さくら市少年少女レスリング大会 63kg級優勝

教職員 佐野市春季卓球選手権大会男子シングルス第3位 年代別スリーシングルス団体戦一般男子優勝

始業式 講話より 横綱 大鵬 ～毎日同じことの繰り返し～

みなさん、こんにちは。今日から第2学期のスタートです。皆さんは、今朝どんな気持ちで家を出たでしょうか？昨日の夜から待ちきれない思いだった人、久しぶりの登校にわくわくしていた人、学校に来るのがなんだか面倒だなとしつぶだった人、よく分からないけど不安や嫌な気持ちでいっぱいの人、特になんともない人、あなた自身はどんな気持ちでしょうか、そして今、ともに教室にいる仲間とはどんな気持ちでしょうか？一つの節目、第2学期のスタートの日、どうにもならない不安な気持ち、疲れを感じる身体、そんな症状がある人は、「これくらい」と自分で自分を納得させずに、遠慮なく先生や友達にそのことを伝えてください。不安や嫌な気持ちは、一人でどうにかしないこと、一人で抱え込まないことです。友達が不安や嫌な気持ちでいるのを聞いたら、ただじっくり聞いてそばにいてあげてください。これが、2学期スタートで一番言いたいことです。よろしくお願いします。

では、2学期のスタートにあたり、日々の地道な努力の大切さについてお話します。かつて、大鵬という北海道出身の横綱がいました。日本の高度経済成長期の頃ですから、半世紀も前のヒーローです。幕内優勝32回を記録した大鵬さんの言葉です。「だから私ははっきり言う。誰もが夢だとか目標だとか言うけれど、そういうものではないよ。毎日同じことの繰り返しだよ。コソコソ、一つのことを根気よく続けるかだよ。農作業でもそうですけどね。北海道の広い畑を鋤で耕そうとすると、前を見て「まだこんなにあるのか」と思うけれども、毎日コソコソ耕していたら、だんだん起こした部分が広くなり、喜びに変わるわけだから。大事な何の変哲もない丸い土俵から何を学ぶかということです。」大鵬さんは、親方からも期待をされていたが、その分、心身両面での鍛錬は厳しかったそうです。激しくキツイ稽古に加え、相撲の基本動作である四股を500回、鉄砲という柱をたたき基本技を2,000回が毎日のノルマでした。手を挙げれば、すぐに親方には分かっしまい、いくらきつても黙々とやり通す以外になかったそうです。「なんで俺だけが」と何度も思ったそうです。相撲界に入門当時、身長が183センチ、体重が71キロで痩せていた少年が、大きな身体に鍛え上げられ、横綱まで昇りつめ、さらには連勝を続けられたのも、全てはこの、相撲の基本である四股と鉄砲をみっちりやっただけだと大鵬さんは言っています。地味である上に、きついことをひたすら続ける根気、そこから何ものにも負けない精神力が培われるといいます。さらに、大鵬さんの言葉です。「土俵での取り組みは、一瞬、この一番、この一秒が全てです。その一番にかけるために、一つの稽古を大事に丁寧にやるかどうか、最後はそこに結びつきます。もちろん、最初からそういうことは分かりません。序の口、序二段、三段目と番付が上がってくるにつれて一瞬の勝負のために毎日稽古を積み重ねることがどれだけ大事かを少しずつ体で覚えていくわけです。」歴代2位になる、幕内優勝32回、45連勝という華やかな勝利の陰には、コソコソと毎日同じ事のくりかえしを丁寧に実行するという努力、根気があったのです。

2学期初日、新たな気持ちで迎える最初の日に、地道に努力することの大切さを伝えたく、今日の話をしました。新学期を迎え、皆さんが、目標をたてたなら、まずは、結果をあせらずに、毎日コソコソやることがとても大切であるということを感じてもらえれば幸いです。今学期も、共に、考え支え合いながら前進していきましょう。以上でお話を終わります。



にゆうどう らい にじ おといろ さ いそ
ひる入道 雷はなち 虹のこす 音彩冴えて 去るも急ぎつ

